

平成30年度 環境創造センター年次計画概要

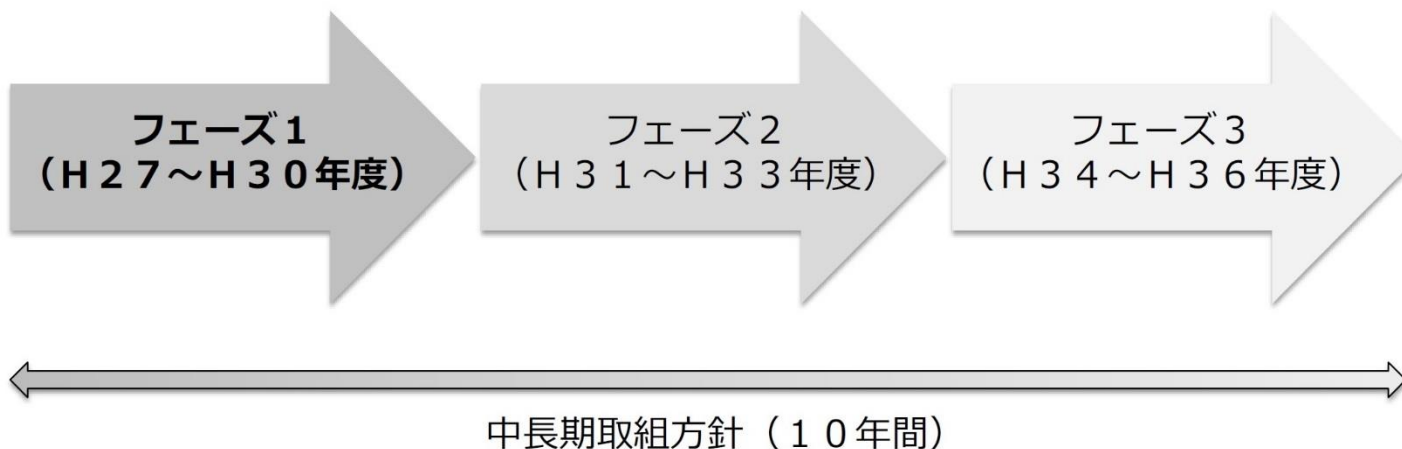


平成30年3月13日
環境創造センター

平成30年度の取組について

平成30年度においては、「環境創造センター中長期取組方針」に基づき、引き続き、「モニタリング」「調査研究」「情報収集・発信」「教育・研修・交流」の4つの取組を推進する。

また、平成30年度は中長期取組方針に定めるフェーズ1（平成27年度～平成30年度）の終期を迎えることから、フェーズ1のとりまとめ及びフェーズ2（平成31年度～平成33年度）の事業方針を定めることとする。



1 モニタリング

県民の安全を確保するため、引き続き、身近な生活環境や原子力発電所周辺の継続的な環境放射能等のモニタリングを実施するとともに、その結果の管理及び情報発信を実施する。

(1) きめ細かで継続した環境放射能モニタリングシステムの構築・運用

- ・全県的な放射線等モニタリングの実施
- ・原子力発電所周辺の空間線量率等の測定の実施
- ・環境放射能水準調査の実施
 - 【拡充】北朝鮮による核実験の際のモニタリングの強化
- ・県民ニーズに対応したモニタリングの実施
 - 【新規】中間貯蔵施設及び特定廃棄物埋立処分施設(富岡町)に係る環境モニタリング
- ・規制庁モニタリングの実施

(2) 環境放射能等モニタリングデータの管理、解析・評価

- ・環境放射能モニタリングデータの管理
- ・測定におけるトレーサビリティの確保
- ・一般環境中の有害物質等のモニタリングとそのデータの管理

1 モニタリング

(3) 緊急時環境放射線モニタリング体制の構築・運用

- ・緊急時モニタリング体制の構築
- ・東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃止措置に対応した環境放射線モニタリング体制の構築
 - 【新規】原子力発電所周辺での大気中トリチウムの調査分析の再開
- ・大規模火災対応等訓練

2 調査研究

放射線計測、除染・廃棄物、環境動態、環境創造の4つの部門において調査研究を計画的、体系的に進め、その成果を県や国等が実施する施策等に活用していく。

(1) 放射線計測

- ・分析手法の開発
- ・測定技術の開発
- ・測定結果の提示方法
- ・被ばく線量の評価手法・モデル開発

(2) 除染・廃棄物

- ・除染・移動抑制技術の開発
- ・除染効果の評価及び環境への影響評価
- ・減容化技術の開発・高度化
- ・廃棄物等の管理手法・適正処理処分技術の開発

(3) 環境動態

- ・移行挙動評価
- ・移行モデル
- ・野生生物への影響把握
- ・生態系管理手法等

(4) 環境創造

- ・環境に配慮した社会づくり
- ・災害に強い社会づくり
- ・美しいふくしまの創造

3 情報収集・発信

モニタリング結果や調査研究成果などについて収集・整理を行い、県民等がわかりやすく利用しやすいような情報発信を行うとともに、県外に向けた情報発信について検討を進める。

また、交流棟において企画展等を実施するなどして、センターの周知を図る。

(1) モニタリングデータの収集・発信

- ・モニタリングデータの収集・発信体制の検討及び構築
- ・放射性物質モニタリングデータの情報公開サイトの開設

(2) 調査研究成果の収集・発信

- ・研究成果報告会等の開催
- ・福島原子力事故関連情報アーカイブの継続
- ・研究関連刊行物の発刊

3 情報収集・発信

(3) 環境回復・地域再生・環境創造に関する情報の収集・発信

- ・環境回復・創造に関する団体等の取組事例の収集・発信
- ・放射線・除染等に関する環境回復に関する講習会の実施
- ・除染活動を支援する情報の発信
- ・環境回復・創造に関する図書等の収集

(4) 交流棟における取組

- ・交流棟運営について
 - 【新規】映像コンテンツの多言語化、各展示のコンテンツの修正による展示の充実
- ・他館等との連携及び企画展示等の実施
- ・学会、国際会議等の誘致
- ・交流棟の利用促進に向けた取組
 - 【新規】雑誌社や旅行代理店等の見学ツアーの開催、環境創造シアター映像の映像コンテストへのエントリーなどによる交流棟や福島県の魅力の発信
- ・県民及び来館者に対する情報発信

環境の現状や放射線に関する情報を伝え、ふくしまの未来を創造する力を育むため、環境放射能等や環境の回復・創造に関する教育・研修や人材育成に取り組むとともに、交流棟や附属施設を利用し住民理解の促進等に向けた取組を実施する。

(1) 環境放射能等に関する教育

- ・放射線・除染等に関する学習機会の創出
- ・大学等と連携した教育プログラムの実施
- ・環境に係る教育の機会の創出
- ・「放射線に関するご質問に答える会」の継続

(2) 環境の回復・創造に関する研修

- ・放射線や除染等、環境回復に関する研修会・セミナー等の実施
- ・環境回復に向けた講習会等の実施
- ・大学生、高専生への放射線教育を通じた環境回復分野の人材育成事業の推進
- ・リスクコミュニケーション事業への対応

(3) 県民・NPO・関係機関との交流

- ・附属施設を利用した交流活動の実施
- ・住民理解の促進に向けた取組
- ・市民との交流イベント、ワークショップ等の開催